

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		KID ACADEMY塚口校		公表日 2026年 2月 9日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	1	・スペースに余裕があるが、クールダウンする場所があればベストだと思います。 ・工夫をしながら支援を行っている。 ・場所を分けて使っています。 ・カリキュラムスペースとフリースペースを分けている。	パーテーションなどの導入も検討していき、クールダウンする場所をつくりたいと思います。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	3	・その日の利用人数に合わせて組み方を考えています。 ・お子様の状態に合わせて送迎の対応なども工夫している。	人員配置については法令を遵守してり有資格者(保育士・児童指導員など)を配置しています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	3	・室内は壁面飾りなどもなくお子様の気が散らないように工夫している。	引き続き、お子様のわかりやすい配置やすっきりした表示を心掛けます。また、強度の高い柵の導入も検討してまいります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	・掃除や消毒などを行なっています。 ・清潔であるよう掃除や環境整備をしている。	引き続き、次亜塩素酸や、アルコールによる消毒を徹底して、清潔を保ちます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	0	7	・先にも書きましたが、クールダウンできる場所があればと思います。 ・クールダウンする場所が必要だと思う。 ・その場所はないので、必要な時にはあった方が良いと思います。 ・広い空間でのびのび出来るが、クールダウンの場所が確保出来れば尚良いかと思います。	現在は個別の部屋はありませんが、クールダウンが必要なお子様もいらっしゃるの、パーテーション等の導入も検討してまいります。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	2	・朝礼で振り返る時間をとっています ・朝のミーティングを利用して報告が有り分かり易い。 ・毎日のミーティングやスタッフ間で共有を行なっています。 ・朝のミーティングなどでお子様の情報共有に努めている。	朝礼時や必要に応じて、支援計画はどうだったのか、それに対しての振り返りを行い、成功した点を共有し、今後の取り組みを話し合う時間を設けています。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	・懇談を設けてお伝えしている。 ・面談や申し送りなどで保護者様の意向を伺い支援につなげている。	引き続き、保護者様等の意向を把握し必要であれば業務改善に取り組んでまいります。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	・朝礼などで話しやすい環境が作られていると思います。 ・朝のミーティング時に行われる ・必要ないことを明確にして業務を減らしていきたいです。 ・朝のミーティングの場が意見交換や話し合いの場になっている。	朝礼で話し合う時間を設けています。必要に応じては別に話し合う時間を設けております。業務時間短縮の工夫に関しても職員全員で話し合っていきたいと思います。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	4		現在は、第三者により外部評価は実施の予定はありませんが、今後必要に応じて検討してまいります。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	・毎月、研修や訓練があります。 ・研修はあるが、アーカイブになるとなかなか時間が取りにくい場面もある。 ・定期的に研修を受けてスキルアップの機会をいただいている。	定期的に研修があり、視聴の時間も今後工夫してまいります。また、欠席者へのアーカイブ視聴も徹底してまいります。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	・提供記録が保護者公開になり、以前より伝えやすくなっています。 ・支援の内容やお子様の状況などを共有して更なる支援につなげている。	提供記録はWEB公開になっており保護者様に見ていただいております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	0	・お子様や保護者のニーズや課題を踏まえて支援を行えるよう支援計画を立てている。	職員全員でアセスメントできるよう今後も、工夫していきます。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	・スタッフ間で話しあって進められています。 ・複数の職員が実際に行った支援やその結果を共有して検討している。	引き続き、スタッフ間で話し合い進めてまいります。

適切な支援の提供	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	・アセスメントシートや朝のミーティングで行われている。 ・常に確認出来る場所に置き周知しています。 ・支援計画を見てカリキュラムを組めるよう工夫している。	児童発達支援計画はミーティングをもち職員間に共有しております。 また、職員が見やすいように置き場所も工夫しており、計画に沿った支援を行うよう努めております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	2	・日報で状況を確認している。	今後は、アプリを利用してより詳しく記載できるよう徹底していきます。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	1	・お子様への支援内容が家庭や園の状況も合わせて考えられている。	お子様の発達段階に応じて、必要な項目が設定されるよう、引き続き、チームで支援していきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	・前回の様子を聞いてプログラムを立てるよう工夫している。	シフト制のため欠席の職員との共有を校日報などを利用していきたいと考えています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	1	・スタッフ間で相談しながら進めています。 ・最近の日報を見て支援内容を確認した上でプログラムを立てている。	今後も工夫しながら支援を提供してまいります。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	・利用人数や組み方を考えながらその日に決めています。 ・集団を実際にやってみた様子を踏まえ、またお子様の今の状況に合わせて、個別と集団どちらが適切かを決めている。	利用時間の都合で集団活動ができない場面もありますが、今後も工夫しながら支援をしてまいります。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	・1日や時間の中の動きが分かるように声かけを行なっています。 ・朝のミーティングで情報共有し、その後の担当者分けて本日の予定を話し合っている。	お子様の発達段階に応じての話し合いを行っています。引き続き、チームで支援していきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	・その日ではないですが、翌朝の朝礼で振り返っています。 ・朝のミーティングで反省を含めて行われる。 ・翌日にミーティングを行なっています。 ・翌朝のミーティングで支援の振り返りを行っている。	振り返りで気が付いた点は、共有していますが、その日休みの職員への共有も徹底していきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	・支援後は日報で記録を残している。	記録は残しており、朝礼などで職員間で話し合いを行っています。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	・午前中に職員皆で必要に応じてモニタリングを行っている。	当日、お休みで参加できなかった職員にも回覧で意見を出していただいています。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	・児発管が参加している。	引き続き、こどもの状況を把握し、関係機関とも連携を深めていきます。
	25	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1	・医療との連携は難しい部分もあるので、今後は必要に応じて検討していきたい。	保育、教育等との関係機関とは連携しているところもあり、「マンスリーレポート」をお渡ししています。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	1	・必要に応じて園訪問や第三者会議を行っている。	今後も保護者様の要望に応じて協議、対応していきます。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	2	・学校との情報共有は難しい部分もあるので工夫していきたい。	現状では、保護者様からの情報をいただく形になっていますが今後は状況に応じて検討していきたい。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				

連携	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				現在は、実施がないが今後は必要に応じて、検討していきたい。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	4		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	6	・地域のお子様との交流は現状できていないところがある。	今後、状況に応じて検討していきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	・保護者様のお悩みごとに職員間で検討し、皆で共有しています。 ・面談や申し送りなどで保護者様との共有に努めている。	引き続き、保護者様と話しやすい関係を築いていけるようしていきます。
保護者への説明等	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	3	・茶話会を行なっています。 ・皆さん仕事を持たれていて、なかなか機会を作ることが難しいです。 ・不定期で保護者会を開催している。	今後も、茶話会を開催していきながら参加人数増加に向けての工夫もしていきたい。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0		引き続き、丁寧に行っていきます。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	・毎回、支援計画を作成する前に意向を伺っている。	引き続き、こどもや家族に寄り添って支援に取り組んでいきます。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	0		引き続き、保護者様の言葉に耳を傾け同意を得て、支援計画を作成していきます。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	・保護者様からのご相談事に面談を行う機会を設けています。 ・定期的な面談に加えて、保護者からの依頼に応じている。	保護者様のお困りごとは職員間でも共有し、早急に対応しています。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	3	・保護者会を開催して保護者同士で交流する機会を設けている。	今後も、茶話会などを開催していきながら参加人数増加に向けての工夫もしていきたい。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	・相談の申し入れには迅速に対応している。	相談や申し入れがあった場合には迅速に対応しています。また、連絡が容易に出来るようLINEも活用しています。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	・毎月マンスリーを発行している。	連絡体制はLINEを導入しており、また、その日の様子はアプリを活用して発信しています。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	・帰る前に個人情報のカギつきの棚に入れている。	引き続き、十分注意を払って、取り扱っています。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	・言葉では伝えることが難しいお子様には、ジェスチャーや表情でコミュニケーションを取っている。	引き続き、ジャスチャーや絵、文字で受け取りやすい方法を採用したいと考えています。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	7		今後、必要に応じて検討をしていきたい。
非	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	・定期的に講習を受けて、実際に訓練を行っている。	引き続き、定期的に訓練を行います。
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	・定期的にBCPの講習を受けて訓練を行っている。	引き続き、定期的に訓練を行います。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	2	・保護者様からの聞き取りで確認しています。	事前に保護者様からお伺いしていますが、変更があれば随時アップデートしていきます。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	5	・食事提供はしておりません。 ・対象者がいません。	食事提供はしておりませんが、アレルギー把握は契約時にさせていただきます。

非常時等の対応	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	・定期的に研修を受け訓練を行っている。	実際の場面でも訓練とおりに動けるように緊張感をもって、訓練を行っています。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0	・契約の時に確認している。	安全計画に基づく取組内容は、マンススリーレポートでお知らせしています。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	・ヒヤリハットは職員全員で把握するよう努めている。	今後もヒヤリハットは職員間で話し合い、再発防止に向けて取り組んでいきます。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	・定期的に研修を受けて意識を高めている。	引き続き、虐待防止の研修を重ねて職員一人一人が認識を強く持ち、子どもの心と体の安全に取り組んでいきます。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	0	・実例を挙げて話し合っている。	児童発達支援計画書に記載が必要なお子様には、保護者様に説明の上、記載していきます。